

## 10 高位頸髄損傷者の在宅生活の実態

病院 第一機能回復訓練部 野月夕香理 井上美紀 山本正浩  
伊藤伸 深澤佳世 今村藤香

【はじめに】高位頸髄損傷者の在宅生活は、人的介助とともに家屋改造などの環境整備によって生活様式が大きく左右される。また、在宅復帰後のライフスタイルの変化により、生活環境も異なってくる。我々は患者と家族がよりよい生活を送れるように考えながら環境調整指導を行っているが、在宅復帰後の生活状況については十分に把握できていない。今回は、在宅復帰後、数年経過した高位頸髄損傷者の生活の実態を把握するために訪問調査を行った。その結果、生活形態は家族と同居している者ばかりでなく、ヘルパー等を利用して独居している者もいた。そこで、今後の指導に生かすために、それぞれの家屋や生活の状況について整理したので報告する。

【対象と方法】当院で入院作業療法を実施した高位頸髄損傷者のうち、1999年4月以降に退院し2004年4月時点で埼玉県内または東京都内で在宅生活を送っていて、訪問調査の同意が得られた10(男8女2)名。機能レベルはC4:8名、C5:2名。年齢は42±15歳、退院から在宅までの期間は11±13ヶ月であった。作業療法士2名で自宅へ訪問し、家屋環境や生活状況について所定用紙に基づき、聴き取り調査を行った。

【結果】対象の内訳を表1に示す。同居群は6名(49±15歳)、独居群は4名(31±5歳)であった。独居群は全員が東京都在住で、3名は退院後、家族と同居ののち自らの希望で独居に移行していた。家屋の所有形態は、同居群は持ち家、独居群は賃貸であった。両群とも出入口は整備しており、同居群はスロープまたは段差解消機設置を、独居群は簡易スロープを設置していた(表2)。ADLの状況を表3に示す。移動は家屋環境などの問題で介助されている者はいたが、両群ともにほとんどは電動自動車椅子を使用して自立していた。移乗の介助には、両群ともリフトを使用している者が多かった。排便や入浴は、同居群では家族と訪問看護またはヘルパーが、独居群は訪問看護とヘルパーが介助していた。活動状況は同居群では自営業の仕事をしていた者が1名いたが、その他の者は散歩や買い物を家族またはヘルパーと行っていた。独居群は復学や就労した者、サークル参加や友人との交流など活動的に過ごしていた。社会資源(表4)は、全員が訪問看護を利用していた。ヘルパーは同居群では4名が利用していた。独居群は3名は24時間、1名は8時間で身体介護や家事援助、買い物や散歩なども行っていた。また、友人との交流機会も多く頻繁に外出していた。

【まとめ】高位頸髄損傷者の在宅生活は人的介助が確保できれば最低限、出入口の整備とリフトなどの機器の設置と電動車椅子等での移手段の確保で可能になることが確認できた。特に独居群は電動車椅子を使用することで外出の頻度が多くなり、行動範囲も広がっていた。また、社会資源を最大限に活用した生活、援助してくれる友人が多いことも特徴だった。

\*各表の( )内は人数。

表1. 対象の内訳

同居群	独居群
6名 C4(4)、C5(2) 49±15歳 東京都(2)、埼玉県(4) 在宅期間:1.3±0.7年	4名 C4(4) 31±5歳 東京都(4) 独居期間:1.5±0.8年

表2. 家屋状況

同居群		独居群
持ち家(6):一戸建(4) マンション(2)	所有形態	賃貸(4):一戸建(1) アパート・マンション(3)
スロープ(1)、昇降機(3) 変更・補強(2) 段差解消・補強(2) リフト(4)	改修内容 出入口 床 浴室 機器	簡易スロープ(3) 変更(1) すのこで段差解消(3) リフト(4)

表3. ADLの状況

同居群		独居群
介助(1) 自立(5):屋内のみ手動車椅子(1) 屋内外とも電動車椅子(4)	移動	自立(4):屋外のみ電動車椅子(1) 屋内外とも電動車椅子(3)
全員介助:リフト使用(4) リフト不使用(2)	移乗	全員介助:リフト使用(4)
全員介助 介助者:家族(1)、訪問看護(4) 家族+訪問看護(1) 頻度:1日おき(1)、週2回(5) 場所:ベッド上(5) シャワーキャリーでトイレ(1)	排便	全員介助 介助者:訪問看護(4) 頻度:週2回 場所:ベッド上(3)、ベッド上または シャワーキャリーでトイレ(1)
全員介助 介助者:家族と訪問看護または ヘルパー(6) 方法:シャワーキャリー(3)、リフト(1) 巡回入浴サービスのみ(2)	入浴	全員介助 介助者:訪問看護・ヘルパー(4) 方法:シャワーキャリー(4) 巡回サービスも併用(2)
就労(1) 買い物、散歩など	活動	大学(1)、就労(1) サークル活動、友人との交流、買い物など

表4. 社会資源の利用状況

同居群		独居群
全員利用	訪問看護	全員利用
週2~3回:1回2~4時間(3) 週6回:1回11時間(1)	ヘルパー	毎日24時間利用(3): 公費+自費・友人 毎日8時間利用(1): 公費のみ。 ヘルパー不在時は 友人の援助あり。
身体介護、家事援助、散歩、 ROM訓練など	援助内容	身体介護、家事援助、散歩、 ROM訓練、買い物への同伴など
訪問リハ(2)、訪問マッサージ(4)	その他	訪問リハ(1)